

この度は、弊社製品をお買求めいただきましてありがとうございました。  
本製品は組立式になっておりますので、下記の要領で組立ててください。  
パッキングケースの中には、下記の部品が入っています。

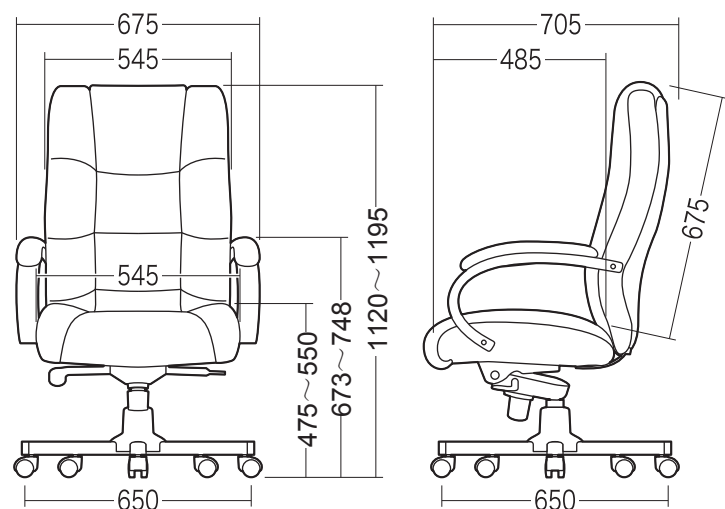
組立説明書は組立て後も  
大切に保管してください。

この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に  
貸し出し、よく読んでから使用するようご指導ください。

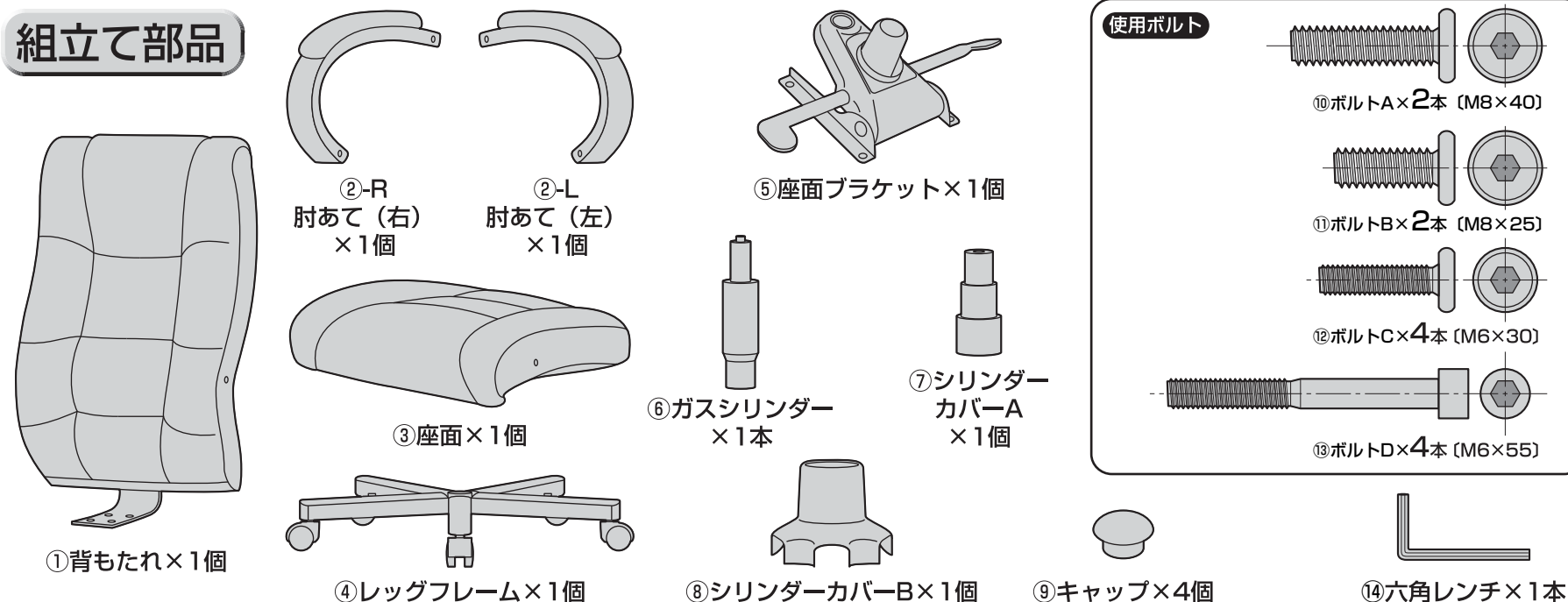
★用意していただくもの・・・

手袋（組立て時のケガ等を防ぐために必ず着用してください）

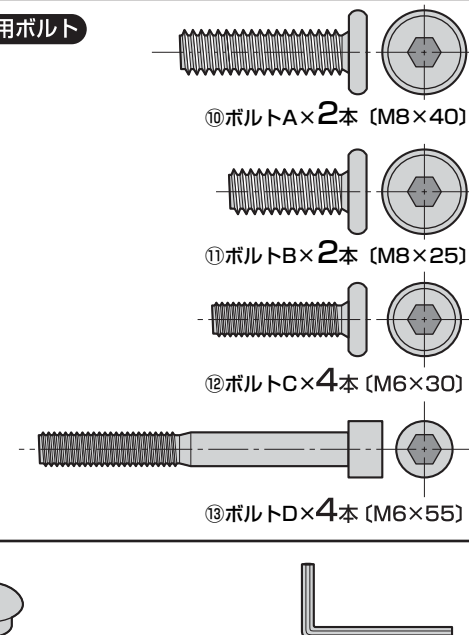
## 完成図



## 組立て部品

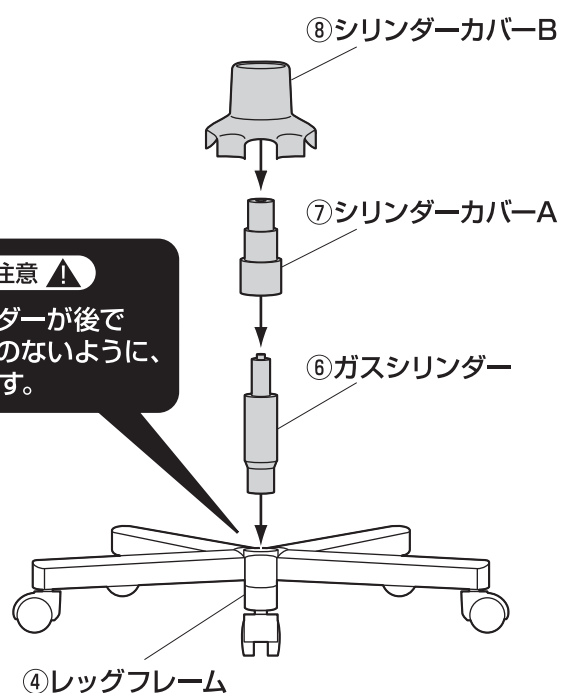


### 使用ボルト



※部品の欠品や破損があった場合は、品番（150-SNCL006など）と上記の部品番号（①～⑭）と部品名（キャップなど）をお知らせください。

## 1 レッグフレームにガスシリンダーとシリンダーカバーを取付けます。

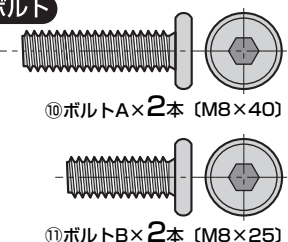


### ⚠ 注意 ⚠

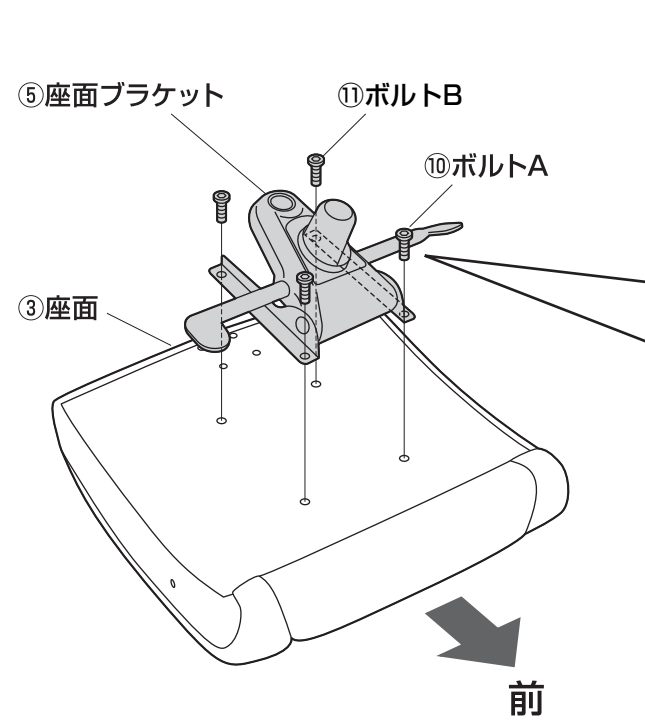
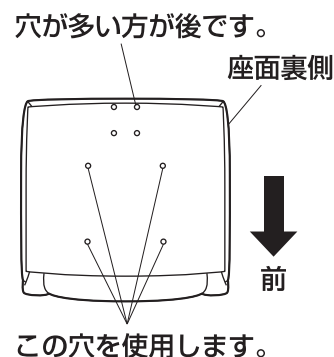
ガスシリンダーが後で  
抜けることのないように、  
押し込みます。

## 2 座面裏側に座面ブラケットを取付けます。

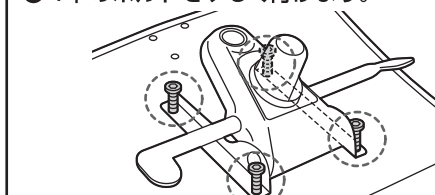
### 使用ボルト



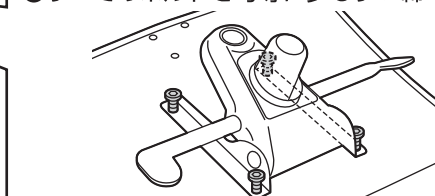
### 下から見た図



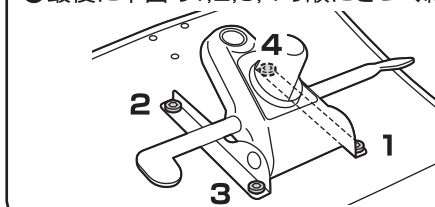
### ①4本のボルトをゆるく付けます。



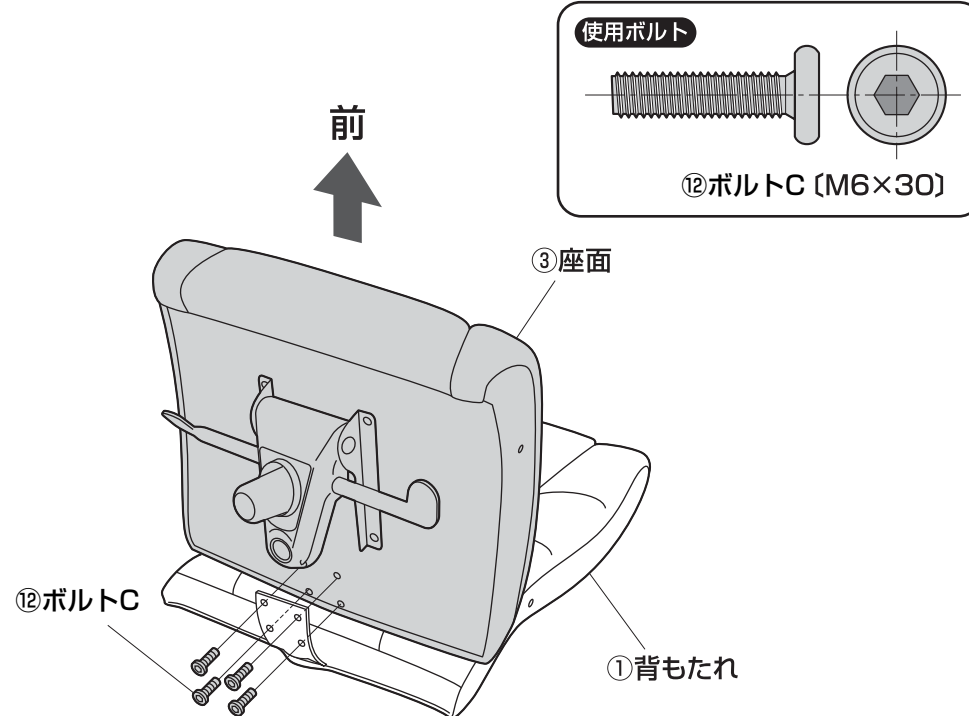
### ②すべてのボルトを均等に少しずつ締め込みます。



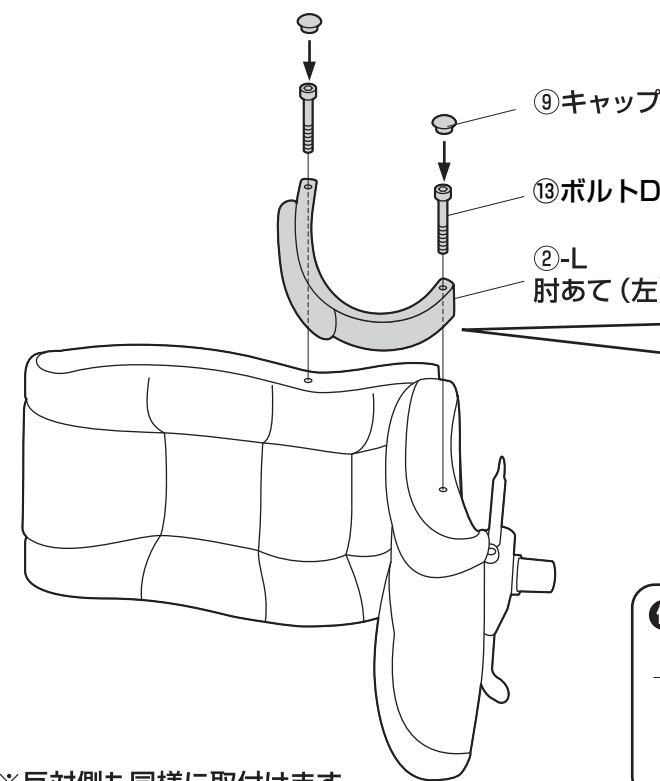
### ③最後に下図の1,2,3,4の順にきつく締めつけます。



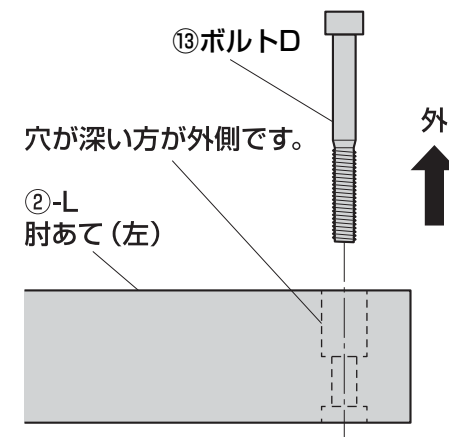
### 3 背もたれに座面を取付けます。



### 4 肘あてを取付けます。



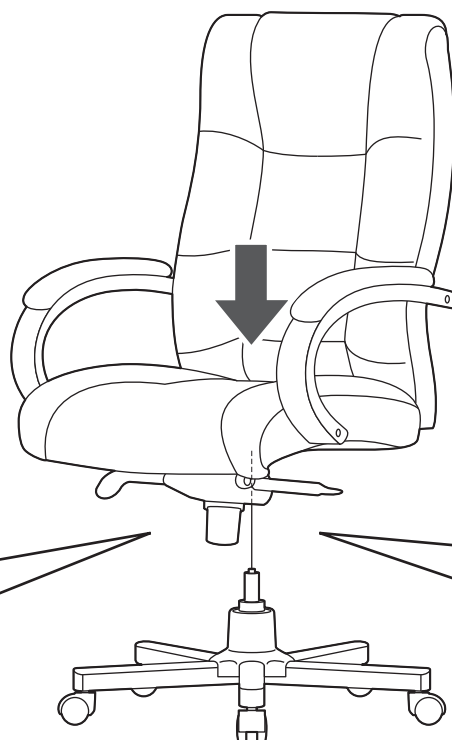
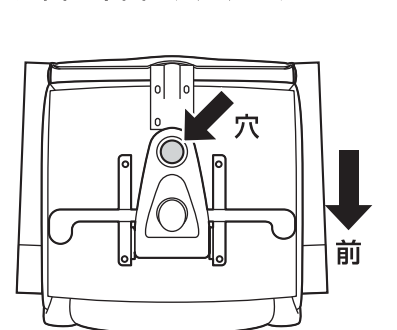
#### 前から見た図



※反対側も同様に取付けます。

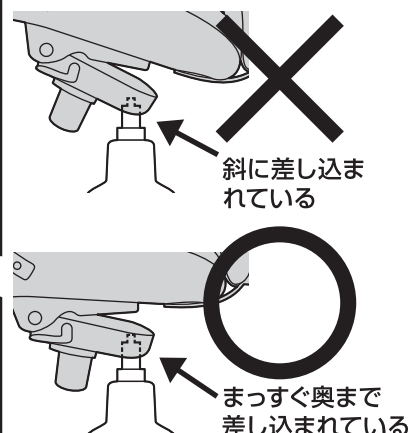
### 5 ガスシリンダーに座面ブラケットを差し込んで、完成です。

#### 下から見た図



#### ⚠ 注意 ⚠

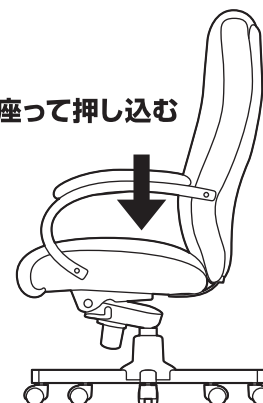
座面 ブラケットをガスシリンダーに  
まっすぐ奥まで差し込んでください。  
座面 ブラケットが斜に差し込まれて  
いると、奥まで差し込まれず、ガスシ  
リンダーが正常に作動しない場合が  
あります。



※ガスシリンダーが深く差し込まれる  
ように、座面にしっかり体重をかけて  
ください。

※ガスシリンダーが深く差し込まれていない  
と、座面の高さ調節ができません。  
※何度か座面に体重をかけてガスシリンダー  
を確実に差し込んでください。  
※体重の軽い方では、ガスシリンダーが深く  
差し込まれない場合があります。

#### 座って押し込む



### チェアの品質表示

外形寸法：幅675×奥行705×高さ1120～1195mm  
(座面高さ475～550mm)

構造部材：背もたれ部・座部・肘あて部/合板  
脚部/木材・スチール  
キャスター部/ナイロン

張り材：本革レザー張り

クッション材：ウレタンフォーム

#### ⚠ 使用上の注意 ⚠

- 直射日光の当たる場所や高温、湿気及び乾燥の著しい場所を避けてください。
  - 滑りやすい床面で使用しないでください。
  - 用途以外で使用しないでください。
  - 2ヶ月を目安に、ボルトやネジを定期的に締め直してください。
  - ボルトやネジがゆるんだ状態では使用しないでください。
  - 座面の上に登らないでください。転倒の原因になります。
  - 可動部に手足などを挟まないように注意してください。
  - 著しい汚れを落とす場合は、薄めた中性洗剤を使用してください。
  - 座面に勢いよく座らないでください。勢いよく座ると、座面に体重の3～4倍の荷重がかかり、チェアが破壊される恐れがあります。
  - 同時に2人以上で腰掛けしないでください。
  - 各調整ボルト、ネジ、ビスなどを含むパーツ類が1つでも紛失、破損、消耗した場合は、純正部品による修理が完了するまで使用しないでください。
- ※以上の注意に従ってご使用いただかない場合、大きな事故につながる危険がありますので、必ず守ってください。

## 座面の高さの調節方法

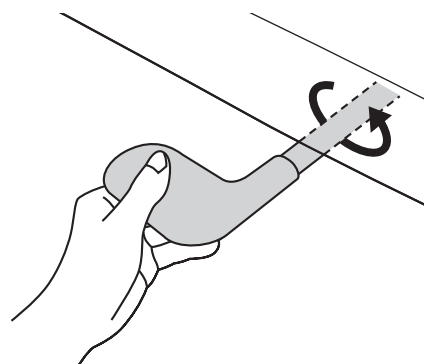
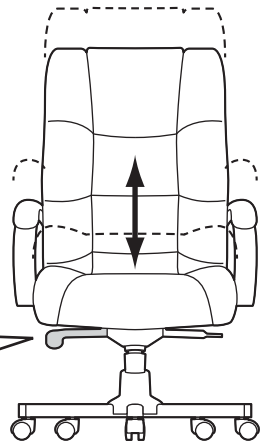


注意

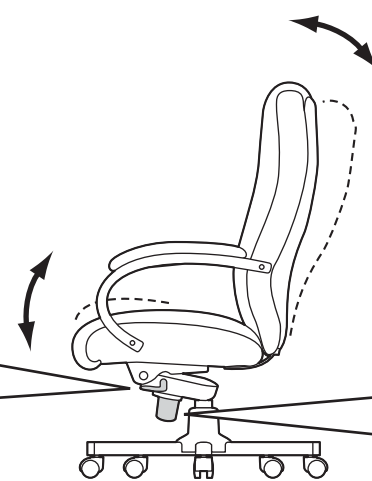
レバーを引き上げてガスシリンダーが正常に作動することを確認してから使用してください。  
正常に作動しない場合はガスシリンダーが奥まで差し込まれていない場合がありますので、座面を差し込み直してください。



レバーを矢印の方向へ回転させると座面の高さ調節ができます。

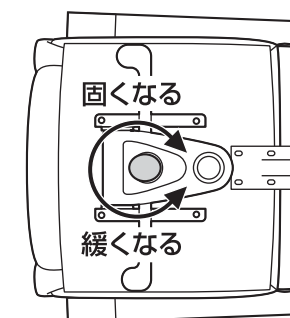


レバーを矢印の方向へ回転させると、3段階の角度で固定できます。  
解除する場合は、レバーを元に戻して背もたれを少し後ろに倒すと固定が解除されます。



## 下から見た図

前



下から見て、ツマミを時計回りに回すとロックが固くなり、反時計回りに回すと緩くなります。